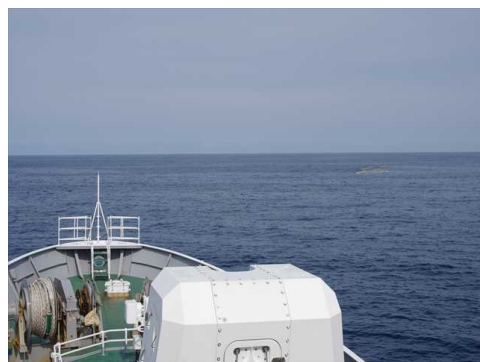


令和3年「8管トピックスTOP10」アンケート項目

1 島根県浜田沖で巻き網漁船が転覆

令和3年3月8日、島根県浜田沖で巻き網漁船が転覆、沈没。

乗組員11名は僚船により全員救助され、1名が救急搬送されましたが、命に別状はありませんでした。



2 大型情報番組(22年目の長寿番組)最終回のラストシーンを飾る

令和3年3月17日、舞鶴海上保安部交通課は某大型情報番組(22年の長寿番組)最終回スペシャル(生中継)に業務協力しました。

関西で絶大な人気を誇る某お笑いタレントが灯台に登りきった後に、マイクスタンドで海に向かって一言叫び、中継を終了する予定が、本番では間に合わず…。某お笑いタレントから直接依頼を受けた交通課長が、海に向かって叫び、最終回のラストシーンを飾りました。



3 西郷岬灯台 初点灯から100周年

西郷岬灯台(島根県隠岐の島町所在)は、令和3年3月31日で点灯100周年を迎えました。

境海上保安部交通課及び隠岐海上保安署(隠岐の島観光協会共催)では、これを記念しフォトコンテストを開催。記念写真や記念動画をYouTubeやTwitterに投稿するなどしました。



4 不審船対処に係る海上保自衛隊との共同訓練を実施

令和3年4月6日、9月24日、第八管区海上保安本部は若狭湾において不審船に対応するための訓練を海上自衛隊と共同で行いました。

同訓練では、臨海部の重要施設に向かう不審船を想定した演練を行い、共同対処能力の向上を図りました。



5 1隻で2時間の間に3件の海難救助

令和3年5月15日朝、福井海上保安署は強風のため戻れなくなったSUP利用者を救助中、ゴムボートが帰還不能との118番通報を受け、救助したSUP利用者を乗せたまま、現場へ急行、救助を完了しました。

上記2件の海難調査中、なんと3件目の118番通報が！現場へ急行し無事に救助しました。



6 島根県隠岐の島北方沖で北朝鮮貨物船が浸水

令和3年5月21日、隠岐の島北方沖約25海里を航行中の北朝鮮貨物船から、第八管区海上保安本部あて「貨物倉庫が浸水しているため救助を要請する」旨の無線連絡がありました。

傾きが大きくなった貨物船から、乗組員は全員救命艇に乗船し、離船。翌日貨物船は沈没しました。



7 2020年東京オリンピック競技大会聖火リレー警戒

令和3年5月、各地で2020東京オリンピック競技大会聖火リレーがスタート。沿岸部も聖火リレーのルートとなっており、海上からも警戒を実施。

特異事象なく、無事聖火リレーは終了しました。



8 日韓合同搜索救助訓練を実施

令和3年6月11日、島根県隠岐諸島西方約100海里の公海上において、日本漁船が浸水・沈没し、乗員がライフラフトに移乗しているとの想定で、第八管区海上保安本部、舞鶴海上保安部巡視船だいせん及び同船搭載機MH914、東海地方海洋警察庁(東海RCC)の警備艦及び回転翼機による合同搜索救助訓練を実施しました。



9 採用募集活動・当庁PRのための「巡視船インスタ映えスポット」をリニューアル

令和3年6月9日、舞鶴海上保安部は舞鶴港に設置している「巡視船インスタ映えスポット」をリニューアルしました。同スポットは約1年前に、採用募集活動及び当庁PRの一環として、設置されたものです。



10 官民合同不法投棄防止パトロールを実施

令和3年6月12日、鳥取海上保安署は産業廃棄物や家庭ごみの不法投棄の撲滅を目的として、「不法投棄防止パトロール」を実施しました。パトロールでは、鳥取県、鳥取市、岩美町、港湾事務所の他、鳥取市のPRガール「しゃんしゃん鈴の音大使」や授業の一環として「鳥取環境大学学生」も参加し、鳥取市及び岩美町の沿岸パトロールや釣具店を訪問しての、啓発活動を実施しました。



11 全国初 40年超の原発再稼働に伴う警備実施

敦賀海上保安部は「全国初」となる運転開始から40年を超える美浜原発3号機の再稼働に伴う警備を実施しました。



12 官民による水難救助合同訓練を実施

令和3年6月24日、舞鶴海上保安部は京丹後警察署・京丹後市消防署、水難救済会マリンレスキュー網の救難所等関係機関55名と水難救助合同訓練を実施し、各機関との連携、救助能力の向上を図りました。



13 闇夜の中、笛の音で要救助者を発見、救助

とある日の夜、海上で笛の音が聞こえた漁船船長が周囲を確認したところ、転覆船に浮かまっている男性を発見。

船長からの118通報を受けた福井海上保安署職員が、現場海域に急行し、闇夜の海に響く笛の音を確認、音をたどっていったところ、転覆船の上に乗って救助を求める男性を発見、無事救助することができました。



14 令和3年度捜査技能審査会を実施

令和3年6月28日から30日の3日間、第八管区海上保安本部は若手職員の捜査能力向上と意識高揚を目的とし捜査技能審査会を開催しました。

管内各部署から各チーム3人、計12人の若手職員が参加し、舞鶴海上保安部が優秀賞を受賞しました。



15 ターゲットは全世代 採用募集のためのCM作成・放送

鳥取海上保安署は採用募集CM動画を作成しました。CMは地元のケーブルテレビ(県内世帯カバー率95%)において全国高校野球選手権鳥取大会開催期間中(7月13日～22日)1日に4～9回放送されました。

また、地元パチンコ店には海難防止動画を流してもらう等、鳥取海上保安署は地元企業の協力を得て広報を実施しています。



16 独自の曳航資器材を開発「えい航可能くん」

小浜海上保安署員は過去の海難救助等で感じたことや小浜海上保安署職員からの助言を具現化し、試作を重ね、曳航資器材「えい航可能くん」を開発しました。

同署員は昨年度救助資器材「あんしんや」を開発しており、第二弾の開発になりました。



17 夫婦で永年勤続表彰(30年)を受賞

浜田海上保安部所属のご夫妻が永年勤続表彰(30年)を受賞されました。

永年勤続表彰(20年)も夫婦揃って浜田海上保安部で受賞されています。



18 島根県隠岐の島で初 安全推進パドラーとのシーカヤック救助訓練を実施

令和3年7月21日、隠岐海上保安署は安全推進パドラー(第八管区海上保安本部指名)の森山氏と連携し、シーカヤック転覆事故の救助訓練を実施し、救助能力の向上を図りました。



19 境港内でフローティングドックが座礁

令和3年8月9日、台風9号を避けるため、境港沖の美保湾に避難していたJIANG JUN号の曳航物件であるフローティングドックが強風に煽られ、漂流。その後防波堤に座礁しました。

怪我人、油の流出被害はありませんでした。

境海上保安部は連絡会議等の場を通して、関係機関と連携することにより、フローティングドックは同年10月26日に撤去されました。



20 協定締結後初 巡視船おきによる中国電力株式会社資器材等搬送

令和3年8月9日、台風9号等の影響で隠岐の島で停電が発生。復旧のため、中国電力株式会社から、第八管区海上保安本部に「相互協力に関する協定」に基づく搬送要請がありました。

これを受け、境海上保安本部巡視船おきが隠岐の島へ迅速に人員資器材等を搬送しました。

協定は令和3年2月9日に締結したものであり、締結後初の搬送となりました。



21 コロナ禍における安全啓発

コロナ禍における安全啓発活動は感染リスク低減のため接触や会話を控えがちですが、舞鶴海上保安部交通課は逆転の発想で、「無言でスケッチブックをめくる安全啓発」を考案しました。

海水浴場に来た家族連れを前に実践したところ、ご家族が子供に直接読み聞かせる等して従来より深く、直接的な安全啓発を行うことができました。



22 海水浴客への安全啓発活動

八管区では、夏季期間の不開設海水浴場における事故防止のため、関係機関と連携し、パトロールやオリジナルポスターを作成するなどし、事故防止対策を強力に推進しました。



23 「敦賀海上保安部金ヶ崎船艇用品庫」完成運用開始について

「海上保安体制強化に関する方針」に基づく体制強化の一環として、昨年的大型新造巡視船「つるが」及び「えちぜん」の配属に続き、8月31日敦賀海上保安部に金ヶ崎船艇用品庫が完成、引渡しを受け、9月1日運用が開始されました。



24 地元中学生に対する職場体験学習について

浜田海上保安部は、地元中学校3年生に対し、職場体験学習を実施しました。

中学生らは巡視艇の乗船実習、灯台見学、救難資機材の取扱いのほか多種多様な海上保安業務を学びました。

9月に実施した体験学習の巡視船見学では、なんと、参加した中学生の母である保安部渉外係長（職場体験担当）と、父である巡視船乗組員の親子3人がそろそろ奇跡の瞬間がありました。



25 海上保安庁 海図150周年 舞鶴鎮守府開庁120周年記念特別企画展を開催

令和3年10月2日から31日までの間、第八管区海上保安本部は舞鶴市と合同で、日本で近代的海図づくりが始まって150年、海軍の舞鶴鎮守府開庁120年を記念して、特別企画展を開催しました。

企画展では明治期の海図作成及び舞鶴鎮守府の設置に尽力した舞鶴出身の海軍次官「伊藤雋吉」の業績や海図づくりから始まった舞鶴鎮守府とまちの歩みと関連海図等を紹介しました。



26 関西電力送配電株式会社と災害対応訓練を実施

年度当初、第八管区海上保安本部と関西電力送配電株式会社は「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。令和3年10月6日、舞鶴海上保安部では、締結後、初となる災害対応訓練を実施し、連携強化を図りました。



27 関係機関と旅客船事故対策訓練を実施

令和3年10月11日、宮津海上保安署は関係機関と旅客船事故対策訓練を実施しました。運輸局、自治体、警察、消防、民間組織等8機関が連携し、消火活動、負傷者搬送救助等、旅客船火災事案発生時の連携と救難技術の向上を図りました。



28 海上保安官が犬命救助

令和3年10月11日、宮津海上保安署がまさに関係機関との旅客船事故対策訓練を実施しようとしていたとき、老夫婦から「助けてください！犬が海に落ちた！」との救助要請を受けました。

巡視艇あまかぜ乗組員が海から上がれず疲れ切った柴犬を救助し、無事に飼い主に返すことができました。



29 浜田市立第三中学校吹奏楽部と巡視船のコラボ

令和3年10月中旬、浜田海上保安部は浜田市立第三中学校吹奏楽部とコラボしたPR動画を撮影しました。

夕暮れの中、巡視船をバックに撮影した演奏はまるでサンセットコンサートのようなものでした。

現在動画は鋭意作成中。乞うご期待！！



30 福井県原子力総合防災訓練にてPL型巡視船による大規模住民搬送を実施

令和3年10月30日、敦賀海上保安部は美浜原発3号機の事故を想定した福井県原子力総合防災訓練に参加しました。訓練では巡視船つるがにより避難住民避難を海上搬送しました。



31 島根県隠岐の島北方海域で韓国漁船が転覆

令和3年10月20日、島根県隠岐の島北方約200キロメートル沖を航行中のコンテナ船から転覆船を発見した旨の無線通報がありました。

第八管区海上保安本部は直ちに船艇・航空機を現場に急行させ、転覆船及びこれにつながれた救命いかだを確認したので、付近海域を韓国海洋警察庁等と捜索しました。

21日、付近を捜索している韓国漁船が2名を発見救助、韓国海洋警察庁の潜水士が転覆船から心肺停止の1名発見、30日水産庁漁業取締船が転覆船の船名が記載されたライフジャケットを着用した遺体1名を発見しました。



32 美保航空基地にコウモリ現る

美保航空基地職員が航空機の点検中、プロペラ部分の隙間でスヤスヤと休んでいるコウモリを発見！航空機に異変がないか隅々までチェックする整備士の姿勢が今回の発見に繋がっております。

コウモリについては、巻き込まれると危険なので、捕獲し、近くの森に逃がしました。



33 舞鶴総合防災訓練にて回転翼機等による支援物資搬送を実施

令和3年10月31日、舞鶴海上保安部・美保航空基地所属回転翼機は舞鶴総合防災訓練に参加しました。

大規模地震災害を想定し、回転翼機は護衛艦ひゅうがに着艦し支援物資を搭載した後、舞鶴教育隊にて陸上自衛隊車両に引き継ぎました。

巡視艇ゆらかぜは、がけ崩れにより、孤立した住民を海上搬送しました。



34 仁愛女子短期大学とコラボしたセーフティフラッグを作成

敦賀海上保安部交通課は仁愛女子短期大学とコラボしセーフティフラッグを作成しました。

セーフティフラッグは福井県内の海上保安部署にて直接配布中です。



35 大型旅客船事故対応訓練を実施

令和3年11月1日、第八管区海上保安本部は舞鶴市消防本部、旅客船事業者及び水難救済会と連携し、新日本海フェリー「あかしあ」の船内において多数の負傷者が発生したとの想定により、大型旅客船事故対応訓練を実施しました。



36 福井新聞ONLINE「敦賀海保日誌」連載1周年

敦賀海上保安部交通課は海難防止啓発及び当庁PRのため、令和2年7月30日から福井新聞ONLINEにて「敦賀海保日誌」定期連載をスタートしました。

この1年で約60記事を投稿し、各記事の閲覧数は数十万回～数百万回を連発！

大手出版社のサイトで紹介されるなど大変好評です。

